

## 賃金ベース アップなし 定期昇給 標準乗数4 実施 定期昇給 特別加算額改訂

これは どういう意味なのか

組合員のみなさん！

ユニオン・国労組合員のみなさん！

会社は18日、賃金ベース引き上げ、夏季手当などに対する回答をしました。回答内容もさることながら、いわゆる「集中回答日」にあわせた回答に驚きを感じませんか。

会社はこれまで、「世のなかの動向を」みながら集中回答日を微妙にずらしてきました。さらに会社はこれまで、わたしたちの「増収・増益に見合った賃上げを」という要求に対して「（収益に関係なく）安定的に対応していく。減収の時は賃下げでも良いということか」と強気な回答をして来ました。しかし今年は同日回答です。どのような意味があるのでしょうか。

この回答の特徴は「世のなかの動向」と「公共性の極めて高い鉄道事業」を理由にしたベースアップなしです。これは、これまで言っていた「安定的に対応していく」に完全に矛盾した回答でしかありません。その本音と、意味はなにか？

それは、経済状況の悪い今こそ社員一人ひとりが必死になって働けば＝命令に服従する「特に優秀な社員は」定期昇給以外にも賃金アップしてやる、という傲慢さと「現金」をちらつかせる「特別加算額改訂」に端的に現れています。

組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！

同僚と競争させ 格差拡大の回答に抗議し  
全員 一律のベース アップを実現しよう！